

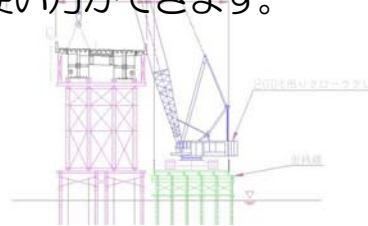


「橋梁架設工事の積算(一社)日本建設機械施工協会」に準拠

鋼橋の架設工事費積算ソフト

概要

- 「橋梁架設工事の積算 令和元年度版」(黄本)に基づいた積算を行います。
- 架設工法はトラッククレーンベント工法および送出し工法です。
- MS-Excel をベースにしたソフトで、編集などが自由にできます。
- 対応橋種は**鉸桁**、**少数I桁**、**箱桁**で、**現場溶接**にも対応します。
- 鋼重やブロック数および地組数などは、**標準値を自動セット**する機能とユーザーが入力する機能があります。したがって、概略積算と詳細積算の両方の使い方ができます。
- クレーンの選定や労務単価は**自動で処理**します。
- 架設工事の**工程表**を出力します。



入出力例

データ入力 - トラッククレーン・ベント工法 -

構造形式 | 主桁 | 重量 | 架設ブロック | ベント・クレーン | 単価・損料 |

主桁情報

主桁本数: 2 本
桁高 (最大支間長/20): 2.3 m
フランジ幅 (桁高/4): 0.58 m
総幅員: 11.8 m
有効幅員 (総幅員 - 1.2): 11.8 m
外桁間距離 (総幅員 - 5.0): 8 m

主桁現場継手

HTB | 全断面溶接 | フランジのみ溶接

平均板厚

上フランジ: 35 mm
ウェブ: 16 mm
下フランジ: 40 mm

外桁間距離

入力セル色の説明 | 前回データ読み込み | 計算実行

■最低10項目のデータ入力で積算できます。

データ入力 - トラッククレーン・ベント工法 -

構造形式 | 主桁 | 重量 | 架設ブロック | ベント・クレーン | 単価・損料 |

地組

単ブロック架設部材

ブロック数: 5
最大部材長: 12 m

地組ブロック架設部材

ブロック数: 3
最大部材長: 20 m

地組部材1主桁当りの総延長 (地組総重量の算出に利用): 60 m

入力説明図

36 m | 36 m

地組ブロック: 8, 12, 11, 10, 11, 12, 8

単ブロック架設部材: ブロック数 = 3, 最大部材長 = 11m

地組ブロック架設部材: ブロック数 = 2, 最大部材長 = 8 + 12 = 20m, 地組部材総延長 = 8 + 12 + 12 + 8 = 40m

注) 地組ブロックは、単ブロック2部材とする

注) ブロックデータは支間長から標準的な値を自動セットしています。この値が不適当な場合は、データ入力して下さい。

入力セル色の説明 | 前回データ読み込み | 計算実行 | 閉じる

■MS-Excel で加工編集が自由にできます。

example_bent.xlsx - Excel

example_bent.xlsx - Excel

項目	名	単位	数量	単価	金額(円)	備考
1	ベント基礎工	m	72.0	4,633	333,576	第1-1号内訳書参照
2	ベント設置工	t	96.9	130,272	12,623,356	第1-2号内訳書参照
3	地組立工	t	232.8	13,408	4,518,182	第1-3号内訳書参照
4	地組溶接架設台設置工	t	12.4	173,144	2,146,985	第1-4号内訳書参照
5	桁架設工	t	364.5	25,763	9,390,613	第1-5号内訳書参照
6	重機分解組立運搬費	式	1.0	3,329,068	3,329,068	第1-6号内訳書参照
7	現場継手部溶接工	m	100.8	104,251	10,508,500	第1-7号内訳書参照
8	溶接用ケツク設置工	個	24.0	136,540	3,276,960	第1-8号内訳書参照
9	支保据付工	基	8.0	125,276	1,002,208	第1-9号内訳書参照
10	高力ボルト本締め	本	18900.0	117	1,977,300	第1-10号内訳書参照
11	落橋防止装置工	組	4.0	45,472	181,888	第1-12号内訳書参照

計 算 機 能

積 算 方 法	「橋梁架設工事の積算（一社）日本建設機械施工協会」に基づく直接工事費の計算
積 算 対 象	直接工事費の内、架設費と現場塗装費が対象（橋面工事費は含みません）
架 設 工 法	トラッククレーンベント工法、送出し工法
対 象 橋 種	鉸桁、少数 I 桁、箱桁（鋼床版橋梁は含みません）
現 場 継 手	高力ボルト、溶接
径 間 数	1～10径間
ベ ン ト 数	0～30基（トラッククレーンベント工法の場合）
送 出 し 機 材	送出し装置、エンドレスローラ、自走台車（送出し工法の場合）
送 出 し の 桁 本 数	鉸桁は1回当たり2または3主桁、箱桁は1主桁（送出し工法の場合）
鋼 重	デザインデータブックから自動セットまたは入力
ブロック数、最大部材長	支間長から自動セットまたは入力
クレーンの選定	「橋梁架設工事の積算（令和元年度版）：（一社）日本建設機械施工協会」から自動抽出
労 務 単 価	「平成 31 年公共工事設計労務単価：国土交通省土地建設産業局建設市場整備課」から自動抽出
機 械 等 の 損 料	「建設機械等損料表（令和元年度版）：（一社）日本建設機械施工協会」から自動抽出
クレーン賃料	「月刊建設物価（2019 年 8 月号）：（一財）建設物価調査会」から自動抽出
作 業 パ ー ティ	自動または指定
工 程 表	自動出力

動 作 環 境

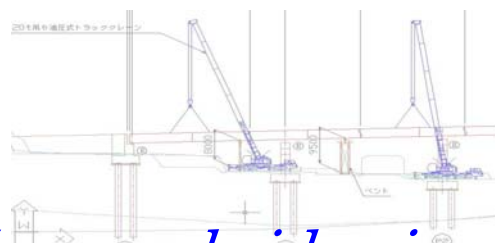
動 作 O S	Windows 10
使用ソフトウェア	MS-Excel 2010 / 2013 / 2016 / 2019

価 格

注)金額は消費税を含んでいません。

	トラッククレーンベント工法	送出し工法
1 ラ イ セ ン ス	10万円	10万円
追 加 ラ イ セ ン ス	2万円／本（1事業所内での追加）	2万円／本（1事業所内での追加）
バ ー ジ ョ ン ア ッ プ 料	2万円／本（追加ライセンスの分については無料）	2万円／本（追加ライセンスの分については無料）

- ソフトウェアは工法ごとに分かれております。ご購入も工法ごとに選択となります。
- バージョンアップとは「橋梁架設工事の積算」や「建設機械等損料表」および「労務単価」などの平成 30 年度から令和元年度への改訂に伴うソフトウェアの変更をいいます。



■ 詳細のご説明および体験版のダウンロードは → <http://www.e-bridge.jp>

・本カタログは、2019 年 9 月 30 日現在のもので、事前の予告なしに変更することがあります。

株式会社横河技術情報

鋼橋ネットサービス係り

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル

TEL 03-5442-1703 FAX 03-5442-1704

E-mail ebadmin@yti.co.jp